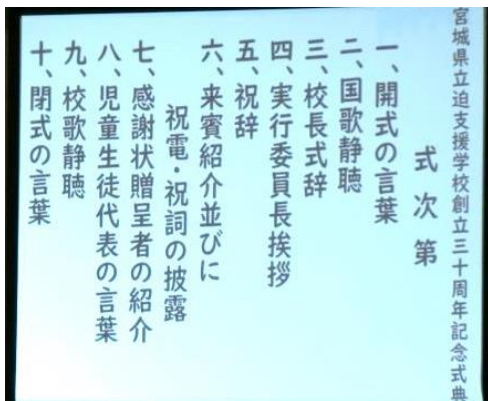


迫支援学校 30歳のお誕生日おめでとう！！

10月30日（金）、本校体育館において「宮城県立迫支援学校創立30周年記念式典」を挙りました。新型コロナウイルス感染症予防対策のため、規模を縮小しての開催となりましたが、宮城県教育委員会教育次長様をはじめとする38名のご来賓の皆様にご臨席を賜り、滞りなくお祝いの儀を執り行うことができました。特にアトラクションの部における児童生徒の発表については、ご来賓の皆様からたくさんのお褒めの言葉を頂戴いたしました。児童生徒は記念式典に向けて、「いつもお世話になっている方々に感謝の気持ちを伝えること」「地域の方々に自分たちの頑張っている姿を見てもらうこと」をねらいに様々な活動に取り組んできましたが、十分にその目的が達成されました。30周年の節目にふさわしい心に残る一日となりました。

昨年度より実行委員会を立ち上げ、準備を進めてまいりましたが、たくさんの皆様のご協力に感謝申し上げます。

【記念式典の部】



式次第



校長式辞



実行委員長 PTA会長挨拶



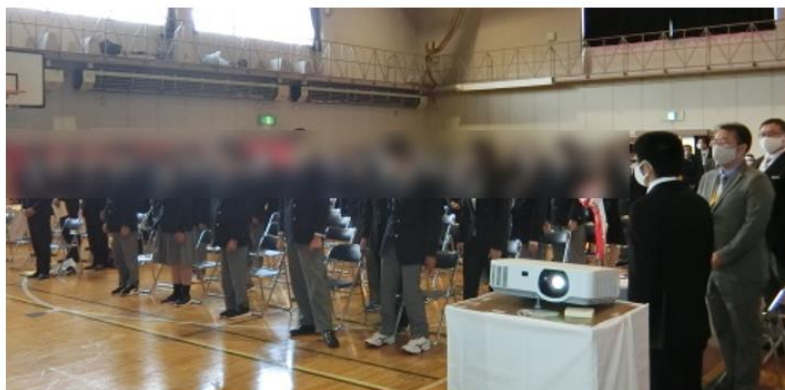
祝辞 宮城県教育委員会教育長挨拶
(教育次長 松本様が代読)



感謝状贈呈者の紹介
計11名の方々に贈呈しました



児童生徒代表の言葉



式典には中学部・高等部の生徒と教職員，保護者代表としてPTA役員の方々が参加しました

【アトラクションの部】



司会は高等部3年生



小学部6年生による「はじめの言葉」



中学部の「和太鼓演奏」 伝統の“ゆめ花太鼓”と今年度初めて取り組んだ“RPG”を披露



高等部の「クラッピング」 “それが大事”の曲に合わせて、リズムミカルに手拍子!!



アトラクションの最後は高等部3年生の「おわりの言葉」で締めくくりました